

塁審の立ち位置

走者無し

- 1塁塁審 ベースから約5m後方 ファウルラインの外で
右足をラインに沿わせて立つ
- 2塁塁審 2-3塁線の延長線よりセンター寄り
ベース後方 5m程度外野の位置
- 3塁塁審 ベースから約5m後方 ファウルラインの外で
左足をラインに沿わせて立つ

走者あり

- 1塁塁審 牽制球・塁上プレーに対応するため、
ベースより1.5m~2mの位置まで近づく
- 2塁塁審 牽制球・塁上プレーに対応するため、
内野へ移動 (下図参照)
- 3塁塁審 牽制球・塁上プレー・ベースリタッチ
に対応するためベースに近づく
ベースより1.5m~2m付近

※走者単独3塁の場合(アウトカウントは問わない)

2塁塁審 ダイヤモンドの外(レフト寄り)へ移動するが、位置は走者無しの立ち位置(ライト寄り)と対称の位置に立つ

2塁塁審の責任範囲

レフトの位置 ⇔ ライトの位置

3塁塁審の責任範囲

レフトの位置近辺 ⇔ レフト線周辺

理由 = 走者3塁時でのレフトフライの際、3塁塁審は3塁走者のベースリタッチを見なければいけない。
このため2塁塁審はダイヤモンドの外へ出てレフトの打球判定に備えなければならないため

